

2015年10月1日

開口部を補強して耐震性を向上
樹脂窓×耐震フレーム「FRAME II」発売
～YKK APの耐震リフォーム 第2弾～

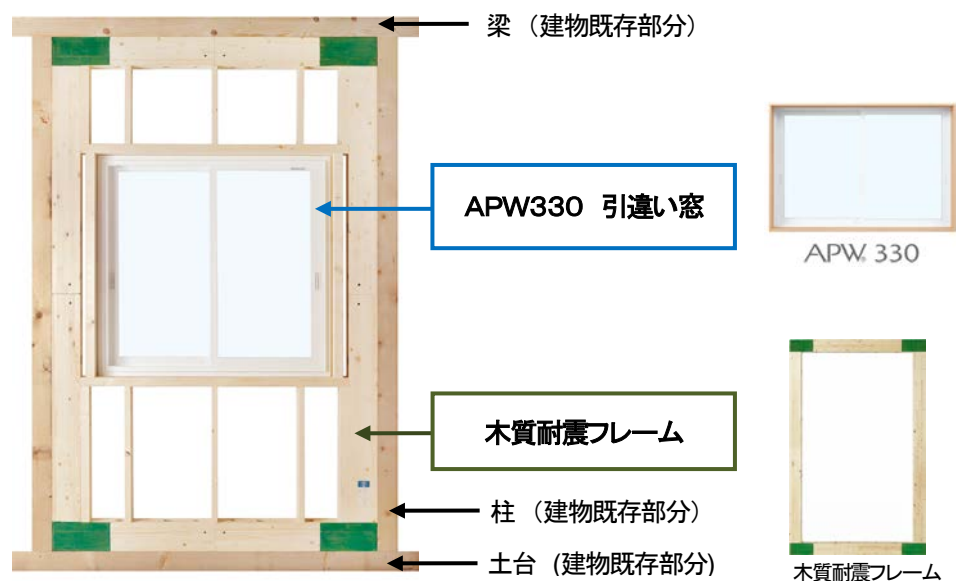
YKK AP株式会社（社長：堀 秀充、本社：東京都千代田区、資本金：100億円）は、高性能樹脂窓「APW330」と木質耐震フレームを組み合わせた新発想の耐震商品「FRAME II」（以下「フレームII」）を2015年10月1日に発売します。「フレームII」は、木造戸建住宅を対象とした性能向上リフォームや大規模リフォーム、リノベーションに提案できる断熱性能と耐震性能の2つの価値を持つ商品です。

木造住宅では、地震時の水平力に抵抗する耐力壁の量と配置のアンバランスからなる家全体の「ねじれ」が、倒壊原因の一つとされています。これまでの耐震補強工事ではこのねじれ防止対策として、窓の多い南面などの開口部を減らして耐力壁を増やすことで、耐震性能を高めていました。

「フレームII」は、耐震上の弱点である開口部の耐力壁量を増やして耐力壁配置のアンバランスを解消し、家全体の耐震性を改善するとともに、高性能樹脂窓「APW330」と組み合わせることで、採光や通風などの窓の機能もそのままに窓の断熱性を向上します。

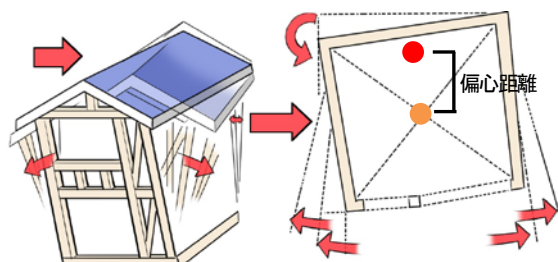
YKK APは開口部から広がるリノベーション事業を推進し、樹脂窓で断熱リフォームによる“健康”と、耐震リフォームによる“安心”の2つの効果を提供していきます。

■「フレームII」（BOX型）の基本構成

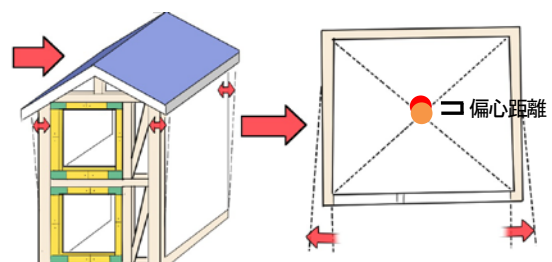


■「フレームII」による耐震補強のイメージ

・耐力壁の量、配置がアンバランスだと大きくねじれる
（偏心距離が大きい）



・「フレームII」によりバランスのとれた家はねじれが少ない
（偏心距離が小さい）



●：剛心 ●：重心

■施工イメージ 「フレームⅡ」APW330 引違い窓・木質耐震フレーム（BOX型）

※以下画像は、内装仕上げを透過した状態のイメージ画像です。

施工完了時は、梁や柱、木質耐震フレームは、壁体内に納まるため室内側からは見えません。



**樹脂窓×耐震フレームで
健康・安心な暮らし**



- 断熱で健康
- 耐震で安心

<商品仕様・概要>

[商品名] 樹脂窓×耐震フレーム 「FRAMEⅡ」(フレームⅡ)

[木質耐震フレーム] J-耐震開口フレーム（BOX型・門型）(※1)

(※1) 開発・供給元はJ建築システム株式会社となります。

J-耐震開口フレームは（一財）日本建築防災協会 住宅等防災技術評価を取得しています。

[規格バリエーション] 木質耐震フレーム：BOX型(柱芯間寸法1,820mm)、門型(柱芯間寸法2,730mm)
開口部 : 「APW330」引違い窓、「APW331」引違いテラス戸

[対象建物] 木造戸建住宅（在来軸組構法）、耐震改修用

[発売地域] 全国

[発売日] 2015年10月1日

[参考価格] 156,300円～(※2)

(木質耐震フレームBOX型・APW330引違い窓 幅(W):1,235mm×高さ(H)1,170mm)

(※2) 部材標準販売価格です。消費税・現場搬入費・施工取付費・付帯工事等は含まれません。

[売上目標金額] 2016年度：8千万円

< お客様からのお問い合わせ先 >

YKK AP株式会社
「耐震商品」お問合せ窓口
TEL：0120-4134-30

< 報道関係者からのお問い合わせ先 >

YKK AP株式会社
広報室 清水、竹澤
TEL：03-3864-2321 FAX：03-3864-2290
E-mail：k_ykkap@ykkap.co.jp